

★政府は、2020年度までの社会資本整備の指針となる「社会資本整備重点計画」を閣議決定(18日)、前倒しで整備を進めていく方針。地震・災害対策など国民の願いに対応する一方で、「国際競争力強化」の名で都市再開発などを盛り込んでおり、ムダ遣いと環境破壊の大型開発を推進する方向。

と な み

旗 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代 180
Tel 33-6118

【この低米価では米づくり続けられない】 昨年比八〇〇円上がるも…

本年産米の概算金は、コシヒカリ一俵六〇kgあたり一万一三〇〇円と昨年より八〇〇円アップ(一年より一〇〇〇円低い)。

十一日の市議会一般質問のなかで「八〇〇円アップは有り難いが、もう少し上がっても…」という農家の声を紹介され、「農政の失策ではないか」と指摘、米価安定のための施策などについての質問がありました。

当局の答弁の概要をお知らせします。

「米の需給バランスについては、徐々に改善の方向にあるが、消費が伸びないことから農業者・農業団体・行政等関係機関がよりいっそう連携し、米の消費

拡大に積極的に取り組む必要がある」

「次年度生産調整の見通しについて、八月二十六日の砺波市水田農業推進協議会地区協議会長会議において、来年度の砺波市平均転作率の概算値は今年度より約〇・九%増の三八・八%として情報提供した。情報収集に努め十二月下旬には地区別の生産目標数量を示したい」

「米価安定施策について、国では経営所得安定対策事業により、農業者・農業者団体・行政が連携し生産数量目標達成に取り組んでいるとともに、米粉用米や飼料用米等の生産利用拡大に向けた取り組みが進められている。このよう

ななかで本年産コシヒカリ概算金が一万一三〇〇円と発表され、昨年より八〇〇円アップしたことから明るい兆しも見えたところだ。本市としても米価安定に向け、今後も経営所得安定対策事業等に取り組んでいきたい」

「TPP交渉については7月下旬の首席交渉官会合で合意に至らず、現在次回会合の日程調整中で、今後の見通しがつかないと聞いている。さきのTPP交渉で特別輸入枠について日本は、米国とオーストラリア産を合わせ年間八万トンまで無税の輸入枠で受け入れる検討に入っていたが、米国の求める十七万五千トンと大きな隔たりがあることから合意に至っていない。実施された場合には米価にある程度の影響が及ぶことが懸念される。政府備蓄米については米の生産量減少による供給不足に備え保有されているものだが、今回は特別輸入枠に対応した米価

安定対策や需給対策として検討されているようである。なおTPP交渉については、農業分野ばかりではなく多様な分野に関連

【民間任せ・市場任せの米政策あらためよ】

民間の「収入保険」じゃダメ

当局は「コシヒカリ概算金が昨年より八〇〇円アップし明るい兆しも見えた」などと答弁しましたが、この程度の引き上げでは米の再生産を保障することは出来ません。

しかも米価暴落の原因とされている米の過剰状態が放置されたままですから、概算金の引上げどころか、市場価格が回復できるか先行き不透明です。

また、農水省は米価下落による減収分を補てんする「収入減少影響緩和対策」(ナラシ)がセーフティネットの役割を果たすと盛んにPRしています。この「ナラシ」は二〇%までの減収が対象。昨年度の農家手取りの減収は多

しており、交渉中というところで詳細な情報等が国から流れてきていない。国の動向を注視し情報収集にとめる」

くの地域で三〇%以上あり、一〇%余が対象になりません。しかも、ナラシの支払いの四分の一は生産者自らの拠出金!「ナラシはセーフティネットにはならない」のが実態です。

政府は、このナラシを「収入保険」に衣替えし、民間の保険会社に委ねる準備までしています。収入保険で実績のあるアメリカの保険会社に進出の場を提供することが容易に想像できます。

本来に米価を回復させるためには、民間任せ・市場任せの米政策を改め、政府の責任で過剰と思われる三〇万トン程度を処理して需給改善するしかないと考えます。

★日本共産党の真島省三衆院議員は23日、熊本県のダムを調査。ダムが原因と考えられる水害に苦しむ流域住民と、現状と対策について懇談。調査では、日本で初めての解体を進める荒瀬ダム(八代市)や、水害の原因とみられる瀬戸石ダム(芦北町)などを視察。

【ただのつぎやき】

18日 市議会本会議を傍聴
戦後最悪の違憲立法・戦争法案をめぐる与野党の攻防が激しく繰り広げられるなか、市議会は淡々と閉会。

「国に慎重審議を求める意見くらい上げたら、」と思ふところですが、いまの砺波市議会には無理でしょうね…。

19日 未明「戦争法」成立

残念なこと十九日未明に参院本会議で自民・公明などの数の力で戦争法案が可決されてしまいました。十七・十八の両日夕方六時半から一時間ほど、砺波駅前国会前抗議行動をリアルタイムで上映



▲国会前のスピーチやコールに足を止める人が…。



▲「アベ政治を許さない」は引き続き使えますね(出た人がいるのに、総裁選挙も出来ないなんてね…)。

「早い！さすが共産党」の国民連合政府」の提案

(スマホでネット接続)戦争法反対をアピールしました。「自分も少し前に国会前に行ってきたよ」という男性や、高校生などから激励、車から手を振って「がんばって」という女性、通りの向こうでスピーチをきく人や、前に立ち止まってコールの場面に目に入る若い二人組など、思ったより反応がありました。国会周辺では、法案が成立しても悲壮感なく、「つたかいはこれから」と、朝五時ころまで行動が続いたそうです。民主主義に気づいた国民の歩みは止められません！

22日 寡黙に宣伝

休日だけど、戦争法が可決されたけど、太郎丸交差点で定例の火曜・木曜朝のスタンディング宣伝。大型プラスタターの文言を現場変更(カラーコピーの貼り合わせ)「戦争法案反対」から「戦争法廃止」に。県外ナンバーの車から力強い手振りなど、いつもと違う手応え。「成立したのに何やってんの？」という感じはありません。連休で県外から来る人に「砺波でもやってたぞ」と、話題になれば良いなあ。

連休中の宣伝では、仕事がお父さんの反応が目につきました。「SNK」となみ(戦争法なくす会)でも立ち上げましょうか…。

スマホ使いすぎ(泣)

データ通信量が限度を超え、超遅くなっちゃった。NHKが国会中継しないのでスマホでネット中継一杯見たせいで！(怒)

(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-33369-8216)

【続 きんごの日記】

19日 娘の結婚式でした。ずっと昔に私だけか妻だけがオークスの何かに入っていたようで、平安閣を利用しての費用が積立られていたのだそうですが、それを利用してもらいました。

通りから見ると全く気が付かなかつたのですが、なんとあの二階にはチャペルが増築されていたのでした。増築と言っても二十年以上も前の話だそうですが、そこで二度目のバージンロードを歩くことになりました。いくらセレモニーだからと言われても、にわかには信じられません。娘たちには申し訳なかつたかもしれませんが、促されても心をこめて「アーメン」と言うことはできません。我が家が曹洞宗である

ためか、葬儀などで「南無阿弥陀仏」と唱和するのさえ自然にはならないのですから。

事前にリハーサルをするのですが、滑稽だったのは鐘の音がしつこくなり続けていたことです。新郎新婦が式を終えて会場を去るときに、二人で鐘を鳴らしていくのですが、そのリズムと回数が定められているのです。その練習でなかなかOKが出ないので、繰り返しカラコンロンカラコンロン、確かに音を出して確かめないでそれで良いのかどうかわからないのでしようか？

誰とどんな風に新たな家庭を築いていくのか、娘が決断したことなので何も言うことは無いのですが、どうしても心配してしまふのでしようか。ずっとこの相手と折り合っているのだから、経済的に行き詰まるのが無いだろうか、愛情を持って子育てに臨めるだろうか…。もともと最後まで見届ける事はできないのだから心配してもきりが無いのですが「やれやれこれまた一つ片付いた」という気にはなかなかないものですね。